

令和7年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	可燃性廃棄物を利用したボイラ
製品種別	エネルギー負荷設備(本体設備)
型番	ADGF01
会社名	株式会社アドバンテック
本社所在地	愛媛県西条市港293-1
会社WEBページURL	https://www.advantec-japan.co.jp
製品紹介ページURL	

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	株式会社アドバンテック 〒793-0046 愛媛県西条市港293-1 TEL (0897)53-7711 FAX (0897)53-7733 E-mail : s.hyoudo@advantec-japan.co.jp
-----	--

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	M. 宿泊業、飲食・サービス業	N. 生活関連サービス業、娯楽業	P. 医療、福祉
導入対象となる分野・プロセス	廃棄物に係る焼却と給湯や暖房等の温水による熱利用		
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	-3.6	kl/年	
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—	%	
設備・システム当たりの想定省エネ率	-40.0	%	
導入事例における費用対効果（年間）	—	kl/千万円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	15,000,000	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	200,000	円/年	

製品・システムの概要

独自の燃焼方法により、廃棄物をクリーンに燃焼を行い、温水の供給を可能にしたコンパクトなボイラーかつ焼却炉になります。
少量の電力と灯油のみでの稼働が可能のため、災害時にもポータブル電源との併用で独立で使用頂けます。また、本製品に必要なものは起動時のごく少量の灯油のほか、非化石燃料（廃棄物や廃油）のみのため、従来のボイラーに使用していた化石燃料代や廃棄物処理のコスト等を大幅削減することが可能です。
また、宿泊施設や福祉施設、災害時の避難所(コンパクトであり簡易設置可能)など、温水需要のある施設・工場で、大幅な省コスト化を図りつつ、地球にやさしく、クリーンに設備をご利用いただけます。

	回答数	回答率
生活空間の広さ	57	67.1%
プライバシーの確保	42	49.4%
風呂	42	49.4%
避難所の温度	41	48.2%
トイレ	40	47.1%
音	40	47.1%
その他の設備	24	28.2%
におい	20	23.5%
明るさ	15	17.6%

※有効回答数87名分

【避難所生活で困ったことについて】

先進性についての説明

独自の燃焼方法により、廃棄物を燃焼した際に発生する燃焼ガスと空気をより綿密に混ぜ合わせることが可能になりました。これにより、ごく少量の灯油（設備起動時に約0.60）のみで廃棄物を燃焼することができ、従来であれば廃棄物燃焼により、ダイオキシン等有毒ガスの排出をしていたところを、廃棄物の完全燃焼による燃焼ガスを無害化した状態で、排気することを可能にしました。
結果として、廃棄物(非化石燃料)を燃焼した際に発生する有毒なガスを無害化し、従来のボイラーで使用していた化石燃料を大幅に削減することができました。

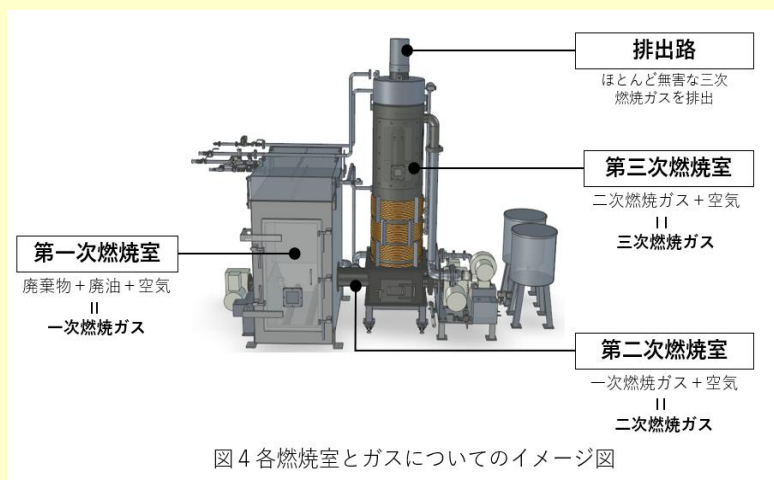
製品・システムの概要・イメージ図

- 独自の燃焼方法により、廃棄物の完全燃焼を可能に。
- 10フィートコンテナ分の場所を確保いただければ設置可能なコンパクト仕様。
- 利用方法は廃棄物の定期的な投入と起動時のスイッチオンのみ。
- 安全装置装備による安全性の確保。
- 可燃性廃棄物と廃油以外には、少量の電力と少量の灯油のみで設備の使用が可能。
- 災害時でも温水や暖房の供給が可能に。

【外観イメージ図】



【設備イメージ図】

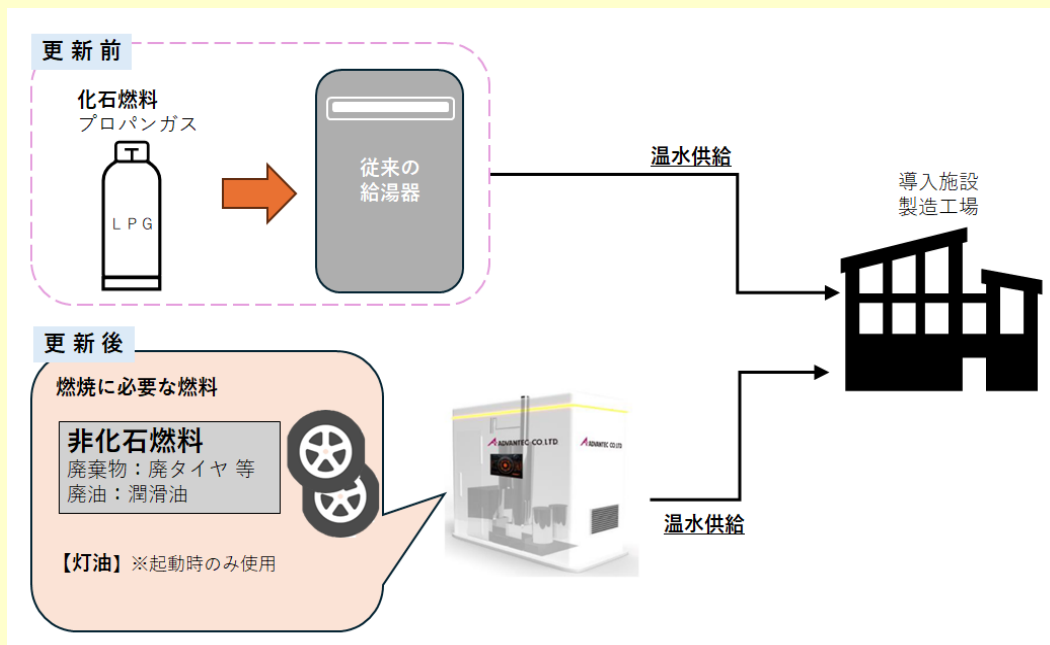


導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	事務所・製品工場	対象設備・プロセス	温水の供給と廃棄物処理
-------	----------	-----------	-------------

【導入事例の概要】

金属部品製造工場へ1台導入し、化石燃料を非化石燃料へ転換することにより、燃料費を約90%削減。工場で製造した製品・機器の洗浄の際に使用する給湯機1台を本設備と入れ替えた。給湯量800ℓ (15℃→55℃)



【従来商品の比較と設備導入イメージ図】